

ぐんま商工連

No.511
令和3年3月

Gunma Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

商工会スローガン「行きます 聞きます 提案します」

U R L ◆ <http://www.gcis.or.jp>

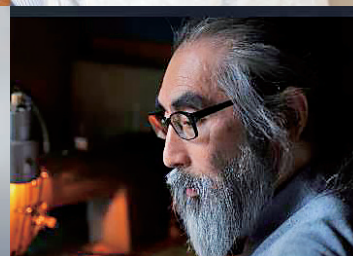
e-mail ◆ kenren@gcis.or.jp

発行所 ◆ 群馬県商工会連合会

前橋市関根町三丁目8番地の1

Tel.027-231-9779(代)

発行者 ◆ 石川 修司



with コロナ時代を勝ち抜く！新たなビジネススタイルへの挑戦 ～ Local Creators Village (オンライン展示販売会) の開催～

百貨店催事や展示・販売会などの相次ぐ中止。コロナ禍によって、多くの小規模事業者は販売機会を失い、厳しい経営を強いられています。この厳しい状況で生き残るためには「変化に対応する」しか活路はありません。変化への対応、それは「ビジネススタイルの転換」などが挙げられます。なかでも「リモート」を主体とした「ゼロ・コンタクト」のビジネススタイルは、またたく間に世界中で普及しました。距離と時間の制約を受けずに売上を伸ばすこのスタイルは、新型コロナの終息後もスタンダードであり続けるでしょう。

そうした中、上野村商工会では県内商工会「初」のオンライン展示会「ローカル クリエイターズ ビレッジ」を開催しました。たしかに一般的な展示会等と比較すれば、来場者は多くはありません。しかし、ハンドメイドやカスタムオーダーを好む「購買意欲の高いターゲット層」が日本各地から訪問し、高い成約率を上げることができました。上野村にいながらにして、全国のターゲットに訴求できる一。コロナ禍における新たなビジネススタイルの可能性を大いに感じました。

Contents

■ 伴走型事業オンライン商談会を実施しました！ … 1
『上野村商工会』

■ ぐんま6次産業化チャレンジ塾開催報告 …… 2

■ Withコロナ時代の会員支援の取組 …… 3
ぐんまオンライン！Tフェアのご案内
ひがしあがつまワンコインランチの宅配やっています
「東吾妻町商工会」

■ 小規模事業者持続化補助金採択事例 …… 4

■ 2020年版はばたく中小企業・
小規模事業者選定企業のご案内 …… 5

株式会社タイヨー『みどり市商工会』

株式会社タツミ製作所『みどり市商工会』

■ 令和2年度第3次補正予算事業のご紹介 …… 6

■ コロナ禍を乗り越える！事業再構築セミナーのご案内 … 7
・商工会の保険診断会 ・最低賃金のお知らせ

■ 六渡先生の経営コラム (第6回) …… 8

ぐんま6次産業化チャレンジ塾 2020

開催報告

群馬県6次産業化サポートセンター（県商工会連合会内）では、6次産業化による起業や事業展開を目指す方を対象に「ぐんま6次産業化チャレンジ塾2020」（令和2年10月21日～3年2月3日 全12回講座）を開催いたしました。

“6次産業化”は農林漁業者が自ら加工・販売までを行う、新たな農業の可能性として注目されています。カリキュラムは、基調講演や先輩起業家による体験談を皮切りに、県内外において各分野で実績のある講師陣が講義を担当し、農林水産物を加工・販売する際の様々な課題を解決するための知識や、販路開拓のためのマーケティング、ブランド戦略などを座学形式にて行いました。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、途中の日程変更や第10講座以降はWEB会議方式による開催となりましたが、延べ290名余の受講者の参加をいただきました。

最終講座では「私の夢を発表します」と題して、受講者それぞれが事業計画を発表し講師が講評を行い、チャレンジ塾は閉講となりました。受講者一人ひとりの「夢」が形になりますよう今後もサポートをしていきます。

参加者の声



●利根郡昭和村／中村 千紘 様

チャレンジ塾では、普段一個人ではお会いできないような講師の方々や経験談をお聞きする貴重な機会を頂きありがとうございました。半年にわたる期間の中で、1つの商品1つの事業をするためにはどんなことが必要なのか、実践やワークを交えて学ぶことができました。商品化までの道のりの大変さと喜びのどちらも経験して今後の仕事に生かしていけるようにしたいと思います。



●高崎市萩原町／福田 善昭 様

新聞で「6次産業化チャレンジ塾」を知り、サポートセンターに電話したら、参加するようにと、大変こころよく受け付けて下さいました。受講内容は生産から加工食品化、流通販売まで、全て分かり易い資料や教本で、講師が楽しく解説。今後の指導や諸種支援のお話もあり、これから仕事をしていくうえで、思いがけず、得るものが大きかったことに感謝しています。



●前橋市古市町／中島 弘之 様

チャレンジ塾の全12講座はどれも有益でした。3つ挙げますと、専門性の高い講師から
①多岐にわたる6次産業化の情報が提供された
②6次産業化を進めるうえでの課題とその対処策が提示された
③経営戦略に基づく6次産業化企画書の指導を受けたからです。



先輩起業家の体験談



グループワークの様子



受講者提供素材を使った試作

小規模事業者のための

ぐんま オンライン ITフェア



お問い合わせ
続々!

～2021.3.31

ひと月数百円からの投資でしかも**簡単導入**
売上アップの悩みは**ITで解決!**

インターネットでも
商品を販売したいなあ

業務をもっと
効率化したい...



参加はこちらの
QRコードから



県商工連では、「ITフェア」を特設ホームページ上で開催しています。サイトでは、事業者の皆さまの経営課題の解決方法としてのIT活用を、販路開拓の専門家として県内で活躍中の(株)



soulpresentationの田村氏と、群馬県民ユチューバーとして活動している、そるていちゃんによる会話で分かりやすく解説しています。

お問い合わせはお近くの商工会まで

商工会トピックス

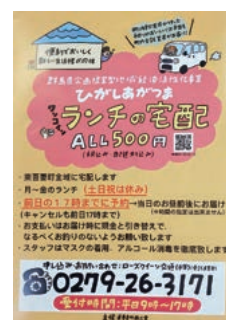


群馬県企画提案型地域経済活性化事業

『ひがしあがつまワンコインランチの宅配』

東吾妻町商工会では、新型コロナウイルス感染症の拡大で集客に苦しむ町内の飲食店を応援しようと、県の企画提案型地域経済活性化事業を活用して、『ひがしあがつまワンコインランチの宅配』事業を行っています。外食自粛や会食の機会の減少が続ぎ、町内の多くの飲食店などで売り上げに深刻な影響が出ています。そのような状況の中でこの事業を開始しました。

お弁当は1個500円(税込・配送料込)で注文を受けた飲食店が作り、集荷・配達は大団旅行の需要が減少した大型バスの運転手が行っています。開始当初は4店舗で始めた事業でしたが、現在は2倍の8店舗までに拡大し、1日の注文数は平均50食、多い時には150食の注文を受けるまでになりました。未だ新型コロナウイルスの先行きは不透明ですが、地域活性化の観点からも事業の継続を行う予定です。



小規模事業者持続化補助金採択事例

株式会社GreenFeel (川場村商工会)

会員登録アプリを活用した特典付与でリピート客アップを実現！

▲会社概要 2017年12月に法人設立、翌年5月に道の駅川場田園プラザから徒歩3分の場所に「Akariかわば田園キャンプ場」をオープンしました。「手ぶらで本格的なキャンプ」をコンセプトとして、充実した設備に加えて準備や片付けの心配が不要な手軽さで、初心者でも安心して楽しめるキャンプ場を目指しています。

▲業 種 サービス業 **▲従業員数** 1名 **▲代表者** 目黒 秀幸

▲事業内容 本補助金を活用して会員登録アプリを制作して、お客様本人の利用や友だち紹介などによる特典を付与することにより、リピート利用の促進に取り組みました。会員募集は施設利用者に手作りチラシを配布しました。

▲事業効果 実施した2019年では最も集客の多い夏休み期間を過ぎたこともあり、事業期間におけるアプリ登録は15名で、内リピート利用は2組と目標に及びませんでしたが、現在登録者は50名を超え、その内およそ35%の方がリピート利用いただいております。2020年は緊急事態宣言によりゴールデンウィーク中休業を余儀なくされましたが、その後は会員のリピート利用やコロナ禍におけるキャンプ需要の高まりも加わり、売上も前年比1.6倍と大幅な増加を達成することができました。

▲事業者の声 当キャンプ場は道具1つ1つにも拘り、手軽かつ質の高さも追求するキャンプ場としてオープンしました。客層を絞り価格帯を高めに設定しているため、リピーター獲得は重要なポイントとして捉えていました。地元商工会の方には計画作成の段階から、事業の実施に至るまで丁寧にご支援をいただき本当に感謝しております。



クラブハウス



テント内



会員登録アプリ画面

株式会社ジュリン (安中市松井田商工会)

ドローン導入で非接触型作業の実現と作業効率化・経費削減を達成！

▲会社概要 平成31年1月に外壁塗装、屋根修繕、新築からリフォームまで請け負う総合建設業として創業しました。代表者は父親が経営する事業所で経営ノウハウを学び独立しました。

▲業 種 建設業 **▲従業員数** 2名 **▲代表者** 宇佐美 太基

▲事業内容 屋根修繕に対する受注を拡大するために、『ドローンを使った屋根の状態検査』を導入しました。このことによって、作業時間と経費の削減を図り、従業員の安全性を高めることを目指しました。

▲事業効果 ドローン導入により、話題性と独自性が高まり、同業の建築業事業者からの依頼が5件あり、売上にして3%の向上につながりました。IoT機器としてドローンを活用することで、屋根の状態検査と施工主様による施工箇所の確認の際、ドローンの撮影動画をリアルタイムで確認できるようになり、当社の施工信頼度が向上し、施工主様の満足度も向上しました。また、以前は複数人で作業にあたっていましたが、単独での非接触型作業が可能となり、加えて足場を設置する作業も不要になったことで、経費節減はもちろん作業の効率化を図ることができました。

▲事業者の声 商工会の支援により、やみくもに設備を導入するのではなく、市場やターゲットについて考察することの重要性に気付きました。また、今回の取り組みで本補助金を活用したことを足掛かりにし、他の取り組みにも利用したいと考えており、将来的な事業展開を考えるきっかけとなりましたので、今後もこういった機会をうまく活用していきたいと思っております。



導入したドローン



ドローンの操作



状態検査で撮影した写真

2020年版「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選定されました。

経済産業省中小企業庁が毎年発行している『はばたく中小企業・小規模事業者300社 2020年版』にみどり市商工会管内の会員事業者2社が、この度「生産性向上・ものづくり」部門に選定されました。

以下にて、選定されました「株式会社タイヨー」、「株式会社タツミ製作所」の取り組み事例をご紹介します。

株式会社タイヨー【代表取締役社長：川合 義一】

みどり市大間々町浅原1458



熟練技術者のノウハウを見える化し、技術承継を伝承

同社が加工する鍛造品は、異形状で硬度のばらつきがあるため、素材にあわせた加工条件が必要となる。これまで熟練作業者の経験によって行われていた加工を、複数のセンサーを用い、その判断基準のデータ化・見える化に取り組んでいる。このように同社独自のデータベース化により、効率的に技術の承継が図られ、高齢化や人手不足の課題を解決するとともに、製品の付加価値を向上させている。

IoTを活用し、生産性向上と高度な切削加工技術の承継を実現

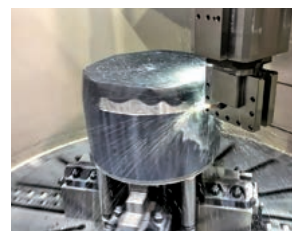
同社は、航空機、船舶、原子力・火力発電所向け大型金属部品の精密加工を行う特殊金属切削加工メーカーで、難加工材料製の鍛造品を高効率で切削加工する技術を有する。今後の成長が見込まれる航空宇宙分野においても、重要なサプライチェーンの一角を担う。

また、2018年に『地域未来牽引企業』に選定された。

IoTの活用で、多台持ちと加工の自動化・無人化を実現

同社では、IoT活用により、加工ライン設備と測定機をLANで接続し、生産に有益な情報を見える化して生産性向上に取り組んでいる。例えば「あんどん」によって、加工機の稼働状態と残り加工時間を表示し、次の作業を明確化している。

この仕組みにより、従来は加工機1台に作業員1人の付帯が必須であったが、加工機の多台持ちと加工の自動化・無人化が可能となる等、業務効率化に繋がっている。さらに、1工程での評価結果を次工程での加工条件にフィードバックする手法を体系的に構築する等、革新性・優位性を有している。



鍛造品の切削加工現場



「あんどん」による業務の効率化



新人教育の現場

株式会社タツミ製作所【代表取締役：赤石 康生】

みどり市大間々町大間379-4



高精度な加工技術の開発により、顧客の望む高品質を実現

自動運転用制御器では、高い加工精度が要求され、加工中のワークの変形抑制が重要となる。変形しやすい薄肉製品の加工精度を向上させるため、群馬県産業技術センターの助言のもと、変形を抑制するための固定方法と加工条件について加工実験を繰り返すことで最適化を実現した。また、高精度な加工技術を支える5軸加工機の活用では、三次元測定機で制作した基準ゲージで加工機の静的誤差を把握し、適切なプログラム修正やメンテナンス時に活用することで、他社に勝る加工品質を実現している。

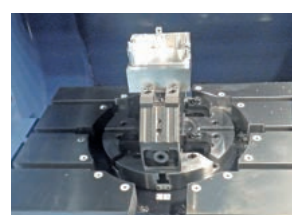
最新設備導入と高度な加工技術開発で、お客様のニーズに応える金属部品メーカー

同社は、今年で創業51年になる自動車や産業機械分野の金属部品加工メーカーである。多工程の製品において高精度で高品質な加工で顧客から高い評価を得ている。

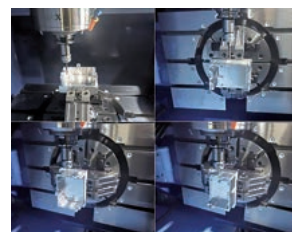
また、2001年には『ISO9001』を取得し継続的改善による生産技術の高度化に努めている。この取り組みが評価されサプライヤ表彰も受賞されている。

最新設備導入で生産プロセスの属人的作業を効率化

次世代自動車開発では様々な試作品を高い加工精度かつ短納期で納めることが求められる。同社では、5軸加工機によるワンチャックで加工を完結させる技術を開発し、多工程の加工プロセスにおける手作業での段取替を不要とした。また、EVの試作開発で求められる大型金属部品の高精度化と品質保証のための全数検査に対し、CADモデルベースの測定手法と首振りプローブにより、属人的作業を削減し業務を効率化した。これらの技術開発や生産プロセス革新で、他社に勝る品質、納期、コストを実現している。



最適な固定方法、加工方法実現のための実験



5軸加工機におけるワンチャック加工



従業員の技術研修

令和2年度第3次補正予算事業のご紹介

中小企業等事業再構築促進事業（事業再構築補助金）

概要：新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらもポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するための企業の思い切った事業再構築を支援（補助金の交付）

◆対象要件：以下の要件をすべて満たす中堅・中小企業

（中堅企業の定義は公募開始前までには公表、中小企業の範囲は中小企業基本法）

1. 申請前の直近6ヶ月間のうち、任意の3か月（連続する必要なし）の合計売上高が、コロナ以前（公募要領等で詳細掲示）同3か月の合計売上高▲10%（中堅企業「グローバルV字回復枠」は▲15%）の中小企業等。
2. 事業再構築指針（公募開始前には公表）に沿った事業計画を認定経営革新等支援機関や金融機関と策定し、一体となって事業再構築に取り組む中小企業等。
3. 補助事業終了後3～5年で付加価値額の年率平均3.0%（中堅企業「グローバルV字回復枠」は5.0%）以上増加、又は従業員一人当たり付加価値額の年率平均3.0%（中堅企業「グローバルV字回復枠」は5.0%）以上の増加の達成。

◆補助金額・補助率

	補助金額	補助率
中小企業（通常枠）	100万円以上6,000万円以下	2/3
中小企業（卒業枠）※1	6,000万円超～1億円以下	2/3
中堅企業（通常枠）	100万円以上8,000万円以下	1/2（4,000万円超は1/3）
中堅企業（グローバルV字回復枠）※2	8,000万円超～1億円以下	1/2

※1. 中小企業（卒業枠）：400社限定

計画期間内に、①組織再編、②新規設備投資、③グローバル展開のいずれかにより、資本金又は従業員数を増やし、中小企業から中堅企業へ成長する事業者向けの特別枠。

※2. 中堅企業（グローバルV字回復枠）：100社限定

グローバル展開を果たす事業であること。

●付加価値額（予定）：営業利益+人件費+減価償却費
※未達成のペナルティは現状未定
●申請にはjGrants（電子申請システム）での受付を予定。
※gBizIDプライムアカウントの発行が必要。
（取得には2～3週間要する場合あり。）

◆補助対象経費

建物費、建物改修費、設備費、システム購入費、外注費（加工、設計等）、研修費（教育訓練費等）、技術導入費（知的財産権導入に係る経費）、広告宣伝費や販路促進費（広告作成、媒体掲載、展示会出展等）等
※補助対象企業の従業員の人件費及び従業員の旅費は補助対象外です。公募要領で詳細掲示。

小規模事業者持続的発展支援事業（持続化補助金） ～低感染リスク型ビジネス枠～

概要：小規模事業者等が経営計画を作成して取り組む、ポストコロナを踏まえた新たなビジネスやサービス、生産プロセスの導入等の取り組みについて、費用の一部を補助

◆補助対象者

小規模事業者支援法に基づく小規模事業者等

◆補助率・補助上限額

【補助率】3/4 【補助上限額】100万円

◆補助対象経費

オンライン化のためのツール・システムの導入、ECサイト構築費 等

※ポストコロナ社会に対応したビジネスモデルへの転換に資する取り組みや感染防止対策費の一部を支援。

※感染防止対策費は、補助対象経費のうち1/4まで計上可能。

◆想定される活用例

- ・ポストコロナ社会を見据えた対人接触機会の減少に資するビジネスモデルへの転換のため、飲食店が大部屋を個室にするために間仕切り設置を行い、予約制とするためのシステムを導入。
- ・旅館業が宿泊者のみに提供していた料理を、テイクアウト可能にするための商品開発を実施。

上記「事業再構築補助金」・「持続化補助金（低感染リスク型ビジネス枠）」とも、本記事作成現在（2月16日）公募スケジュールは未定となっております。公募が開始される際には、詳細が記された公募要領が掲示されますので、ご確認下さい。ご不明な点などございましたらご加入の商工会までお問い合わせ下さい。

Withコロナ・Afterコロナの経営戦略 コロナ禍を乗り越える! 事業再構築セミナー

Zoomで自宅から受講! 初めてのの方は会場で受講も可能!

ポストコロナ・ウィズコロナ時代の変化に対応するためには、これまでの事業の抜本的な見直しを図っていかなければなりません。本セミナーでは、小売業・サービス業・一部の製造業・観光業・交通業界など今後非常に厳しい業界に関連する事業者様がどのような事業展開を行っていけばよいのか?といった点を具体的な事例やアイデアを交えながらコロナ禍を乗り越えるために必要なポイントを学ぶセミナーです。

◆日 時: 2021年3月18日(木) 14:00~16:00

◆会 場: Zoom参加、または群馬県商工会連合会(選択)

◆受講料: 無 料

◆講 師: ジャイロ総合コンサルティング講師

◆主 催: 群馬県商工会連合会

※Zoom参加ご希望の方は事前にZoomのインストールをお願いします。

こんなことが学べます!

- ✓ コロナ禍を乗り越えるビジネス対応と事業再構築のポイントとは?
- ✓ 自社が変化するための障害と対策
- ✓ コロナ禍への対応の具体策



ジャイロ総合コンサルティング(株)
取締役社長 中小企業診断士

渋谷 雄大

WEBを活用したプロモーションを実践。営業強化、店舗戦略、人材育成、販売促進、Webコンサルティングなど幅広い分野でコンサルティングを行う。講演数は年間150回を超える人気講師である。

お申込みは群馬県商工会連合会ホームページ掲載の開催案内(チラシ)をご確認のうえ、FAXまたはメールにてお申込み下さい。ご加入の商工会を通じてお申込みいただくことも可能です。

コロナ禍だからこそ……
保険の不安や質問をスッキリ解消!

保険の無料個別診断会

商工会員の皆さま 保険の診断をしてみませんか?

商工会の診断会ってホントにいいのかしら?無理に共済を勧められるんじゃないかしら……
どんな保険を選んだらいいのか沢山ありすぎてわからない…… 私って保険料払い過ぎ!?
もっと安くなるかな?



**商工会は中立公正な立場で、あなた・家族・会社にとって
最適な保険をアドバイスできます。**

診断会に参加された
会員さんの声

生きる希望がわいてきた…… おかげさまで保険料が大幅に下がりました……
あの時、声をかけてくれて本当に良かった…… 他のことでもまた相談するよ……

ご相談は、ご加入の商工会まで

守ってね! 最低賃金。

群馬県の最低賃金一覧

群馬県最低賃金 (地域別最低賃金)		時間額	発効日		
		837円	令和2年10月3日		
群馬県内の事業場に使用される労働者及びこれらの労働者を使用する使用者のすべてに適用されます。					
特定最低賃金(産業別最低賃金)					
群馬県製鋼・製鋼圧延業、鉄素形材製造業最低賃金	時間額	発効日	群馬県ポンプ・圧縮機器、一般産業用機械・装置、その他のはん用機械・同部分品、金属加工機械、その他の生産用機械・同部分品、事務用機械器具、サービス用・娯楽用機械器具製造業最低賃金	時間額	発効日
	921円	令和2年12月31日		910円	令和2年12月31日
群馬県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金	時間額	発効日	群馬県輸送用機械器具製造業最低賃金	時間額	発効日
	910円	令和2年12月31日		910円	令和2年12月31日



ろくど ねるゆき
嘱託専門指導員：六渡 鎌幸
専門分野：製造業全般

1. はじめに：中小企業者数は年々減少傾向にあり、企業基盤が失われつつある

今月は国内中小企業に課せられた課題とその対応策について、私見を交えながら述べてみたいと思います。現在も国内産業の多くは中小企業の頑張りや底力に助けられる事が多々ありますが、年々中小企業数が減少していく中においては、これからは新しい仕組みを考えていかなくてはならない時代が到来したと思います。以下のグラフは、中小企業数の推移を示したのですが、減少傾向に歯止めがかからず、この傾向は今後も続いていくでしょう。

2. 大企業者数・中小企業者数の現状

今まで以上に中小企業が強くならなければ、上記1. 項の現象には歯止めがかからないと考えています。

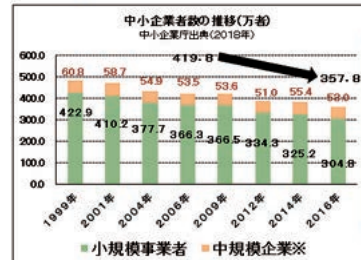
現在国内の大企業を含めた総企業者数は358.9万者（2016年度）、うち中小企業者数は357.8万者で、残りの約1.1万者が大企業です。例えば製造業の付加価値額は共に50%前後に推移し大差ありません。この状況を以下の表に示しましたが、中小企業者数の減少により付加価値額も減少の一途を辿ります。

これからの中小企業はこの現象に歯止めをかけ、付加価値額の向上が行える強い企業が求められます。

中小企業者数の推移 (単位：万者)

	1999年	2001年	2004年	2006年	2009年	2012年	2014年	2016年
小規模事業者	422.8	410.2	377.7	366.3	366.5	334.3	325.2	304.8
中規模企業※	60.8	58.7	54.8	53.5	53.8	51.0	55.4	53.0
合計	483.7	468.9	432.5	419.8	420.1	385.3	380.6	357.8

中規模企業※ 従業員20名以上



2006年から2016年の10年間で中小企業数は大幅に62万者減少
・その中で中規模事業者と云われる20名以上の企業数は10.5万者と僅かな減少(1%程度)に留まっています

・このまま何らかの施策を打たないと中小企業数は減少を続けていくでしょう
・中でも日本の経済の底力であった20人以下の小規模事業者数の減少は、加速化され国内経済に大きな影響が出てくると思われます
・減少の要因は色々ありますが早急な構造改革を行う時期が来ているように感じられます

大企業・中小企業者数について(総務省データ引用：2016年)

区分	中小企業者数			大企業者数	総合計	大企業の中小企業に 占める割合	製造業付加 価値額 (兆円)	
	うち小規模事業者数	割合	大企業				中企業	
全国	3,578,176	3,048,390	85.2%	11,157	3,589,333	0.31%	53%	47%
群馬県	64,907	56,623	87.2%	100	65,007	0.15%	—	—

★中小企業の中に占める小規模事業者数は、85%を占めている

★大企業者数は中小企業者数に対し圧倒的に少ない(全国及び群馬県に於いても、3%程度以下)

★然しながら、製造業の付加価値額を見ると大企業、中小企業ともに50%前後で大差はない。

3. 経営基盤強化でより強い中小企業群を増やすことが求められる

中小企業者数の減少、少子高齢化による働き手人材の減少と個々の企業努力で解消が出来ない中であって今まで以上の付加価値向上、生産性向上が強く叫ばれています。今後の経営環境(モデル)は働き方改革、SDGs、デジタル(DX)、ESG、超・高速通信、及び脱炭素、ニュー社会など過去の経験がほとんど活かさない事へ挑戦し、参画できる企業が求められています。そのためには個々の活動でなく、大きな固まりで攻める事も一つの方法であろうと考えています。以下に私なりの考えを述べてみたいと思います。

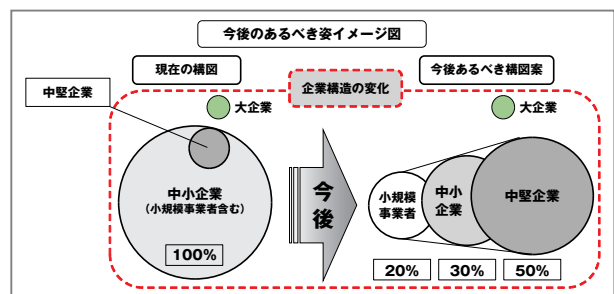
3.1 【中小企業の底力】を連携・連動で復活させる

今後の経営環境が大きく変貌していく中であって、今までのような個々の企業で戦う事は限界があります。永く続いてきた日本の中小企業という定義「枠組み」の中で、企業運営する事はそろそろ限界に近づいています。3百万者の小規模事業者が個々の強みを発揮できる構図を築いていく事が求められていると思います。

- ▶ 個々の企業活動から連携・連動で規模拡大を行い、強みの多様化を創り上げる事
- ▶ 中小企業群から中堅企業群への仲間入りで企業基盤強化を行う事
- ▶ 如何なる社会環境変化が起ころうと常にベストな活動が展開出来る仕組みを創り上げる事、など。

右図は、中小企業の『今後のあるべき姿イメージ図』を示したものです。

中堅企業とは(私見)：その業界である程度高い占有率と成長性を有し独自経営力が備わり、常に新規需要、新規顧客を探索し続ける企業。
資本金の程度は1億円以上10億円未満程度。その上で、中期経営指標(事業計画)をベースにした事業活動実施。



3.2 【中小企業の連携・連動】の一指針

では、【中小企業の連携・連動】を効果的に進めるためには、以下のような指針(考え)で連帯し合い、一体感を持って市場で戦える構図を創造する事だと思います。

中小企業の定義の見直し	中小企業の再編⇒資本金/従業員数でなく、事業内容、将来性、財務力、等の尺度による新規区分と常に見直し可能な編成
中小企業から中堅企業へ	中期事業経営計画を策定し、常にPDCAが回っている経営モデル
小さな固まりから中規模程度の固まりへ	将来性が見える企業群の固まりで編成し直す
サプライチェーン強化を意識した中小企業の再構築	同業、異業種、系列、等の整理を行い、あらゆる経営環境(例えば、社会トレンド、世界トレンド、人の意識変化、気候変動、等々)にも対応できる企業群の再編成

3.3 【中小企業の連携・連動】の一指針：社会トレンドで連携・連動・協業(参考)

★今後の社会トレンドを読み取り、先手で連携・連動・協業し合う事。

